

収蔵品展

関野準一郎版画展

調布市郷土博物館

東京都調布市小島町3-26-2 ☎042-481-7906

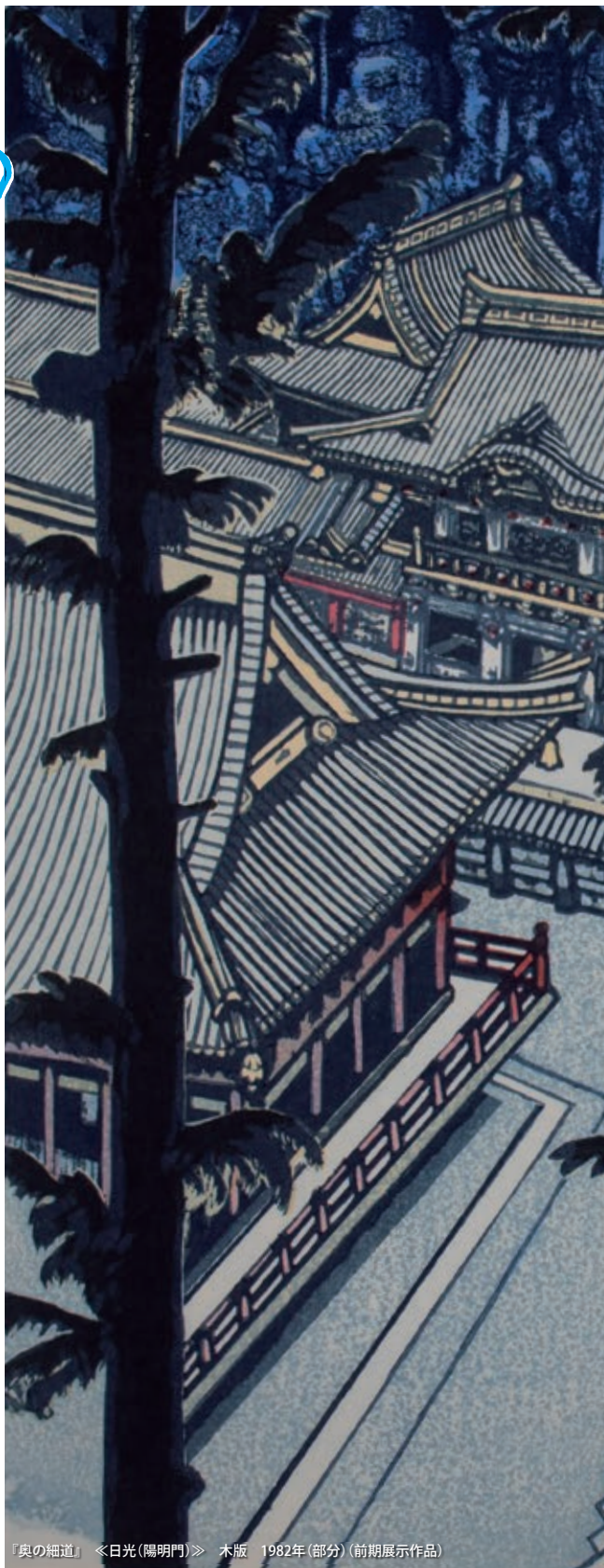
〔会場〕調布市郷土博物館第1展示室
〔開館時間〕午前9時～午後4時
〔休館日〕月曜日(月曜日が祝日の場合は翌平日)
〔入館料〕無料〔主催〕調布市郷土博物館



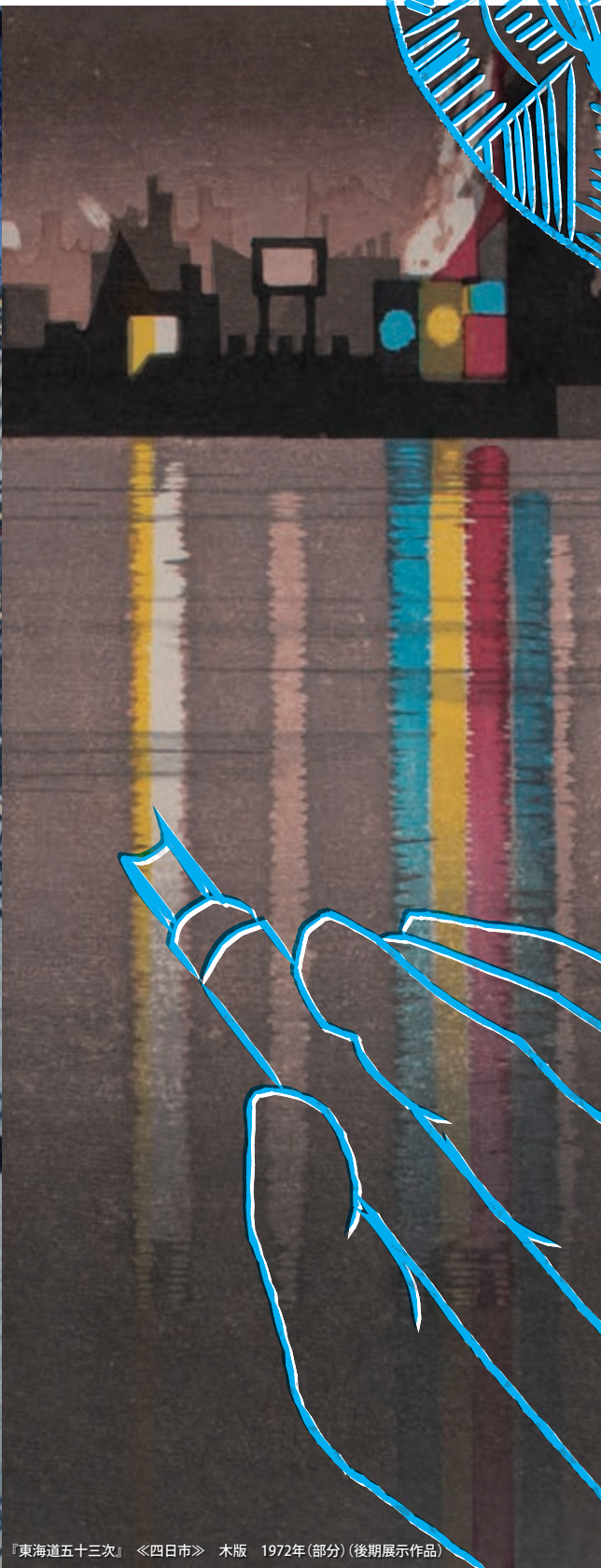
ホームページ
<https://www.city.chofu.lg.jp/100200/p073000.html>



X(旧 Twitter)
https://x.com/chofu_museum



『奥の細道』 <日光(陽明門)> 木版 1982年(部分) (前期展示作品)



『東海道五十三次』 <四日市> 木版 1972年(部分) (後期展示作品)

日本の風景を彫り描く

日時: 令和8年6月20日(土) 午後2時～
(30分程度)

会場: 調布市郷土博物館1階展示室

解説: 担当学芸員

定員: 10人(先着順)

申込: 不要(当日直接会場へお越しください)

参加料: 無料

2026

5.2sat-6.21sun

前期 5.2sat-5.24sun 後期 5.30sat-6.21sun ※5.26tue-29friは展示替えのため休室

ギャラリー
トーク

収蔵品展

関野準一郎版画展

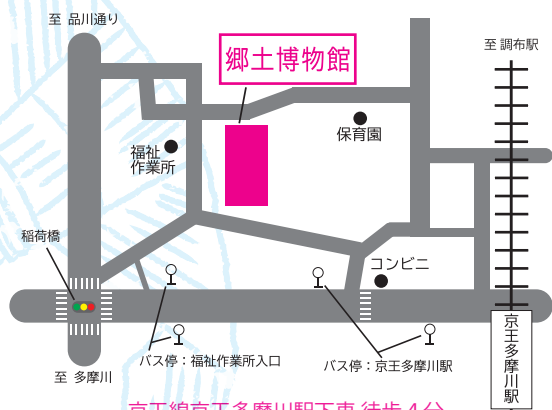
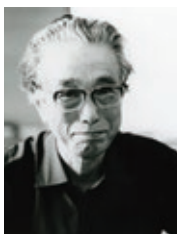
青森で生まれた関野準一郎(1914-1988)は、中学時代から木版画を始め、今純三のもとで銅版画等の技法を習得しました。25歳の時に上京して、恩地孝四郎に師事するようになったのち、恩地孝四郎・山口源らと版画研究会「一木会」を発足して、多くの版画家や芸術家と交流を持ちました。国内外ともに活躍し、人物や風景など多様なモチーフの作品を世に送り出しています。

本展では、青森で生まれ調布に暮らした関野準一郎の『東海道五十三次』、『奥の細道』を中心に風景をモチーフとした収蔵作品を展示します。

関野準一郎が描く風景版画の世界をお楽しみください。

版画家 関野準一郎 (1914-1988)

- 1914年 青森県青森市に生まれる
- 1932年 青森県立青森中学校卒業
今純三から銅版画等の指導を受ける
- 1935年 《埠頭》で第二部会第一回展初入選
- 1938年 日本版画協会会員となる
- 1939年 上京、恩地孝四郎に師事し、一木会発足
鈴木千久馬油絵研究所に入所
- 1951年 銅版画研究所開設
- 1957年 調布市に転居
- 1960年 『東海道五十三次』制作開始
- 1974年 『東海道五十三次』完成
- 1975年 版画集『東海道五十三次』で芸術選奨文部大臣賞受賞
- 1978年 『奥の細道』制作開始
- 1981年 紫綬褒章受章
- 1985年 『奥の細道』完成
- 1987年 勲四等旭日小綬章受章
- 1988年 調布市文化功労賞受賞
4月13日逝去(73歳)



京王線京王多摩川駅下車 徒歩4分

調布市郷土博物館

東京都調布市小島町3-26-2 ☎042-481-7656



▲《埠頭》銅版 1935年 (前期展示作品)



▲『東海道五十三次』《川崎》木版 1960年 (前期展示作品)



▲『奥の細道』《石山寺 (芭蕉庵前)》木版 1985年 (後期展示作品)



▲『調布八景』《若宮八幡》木版 1986年



▲『調布八景』《国領千年藤》木版 1985年